

おばま 市議会だより

No. 161



9月定例会の概要.....P2
市政を問う！一般質問P8
議会報告会を開催します P12

9月定例会の概要

令和元年第4回定例会
が、8月28日から10月4
日まで38日間の会期で行
われました。

今定例会では平成30年
度各会計の決算認定、財
政の健全化判断比率と資
本不足比率の報告、令和
元年度各会計の補正予算
や条例などの議案を慎重
に審査しました。

◆小浜市特定教育・保育 施設および特定地域型 保育事業の運営に関す る基準を定める条例の 一部改正について

賛成全員で可決

●指定管理

◆小浜市インフォーマー
ションセンターの指定
管理者の指定について

賛成多数で可決

●条例

◆小浜市市税条例等の一
部改正について

賛成全員で可決

◆御食国若狭おばま食文
化館の設置および管理
に関する条例の一部改
正について

賛成全員で可決

◆小浜市家庭的保育事業
等の設備および運営に
関する基準を定める条
例の一部改正について

賛成全員で可決

◆小浜市子どものための
教育・保育に関する利
用者負担額を定める条
例の一部改正について

賛成全員で可決

●陳情

◆地方財政の充実・強化
を求める意見書採択に
ついて

賛成全員で採択

●意見書

◆地方財政の充実・強化
を求める意見書

賛成全員で可決

●人事案件

◆教育委員会教育長の任
命について

窪田 光宏氏

◆教育委員会委員の任命 について

村上 郁子氏（尾崎）
賛成全員で同意

（水取二丁目）

【可決した令和元年度補正予算】

会計名	既決予算額	9月補正額	合計
一般会計	154 億 5,332 万円	9,877 万円	155 億 5,209 万円
特別会計	90 億 7,634 万円	1,376 万円	90 億 9,010 万円
企業会計	8 億 4,669 万円	362 万円	8 億 5,032 万円
計	253 億 7,636 万円	1 億 1,614 万円	254 億 9,250 万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

補正予算に対し ※附帯決議案を可決!

令和元年度9月補正予算案には、三井家御殿の部材を、現在の
保管場所である旧堅海小学校校舎の取り壊しに伴い、小浜鹿島の
旧小浜第二保育園へ移転することにかかる費用が計上されていま
した。しかし、復元については「文化財保存活用地域計画」の策
定においても、小浜ならではの景観や歴史文化を考慮し、活用な
どをしっかりと考えるべきであります。

三井家御殿の復元については、市の厳しい財政状況を十分考慮
し、市民のコンセンサスを得たうえで極めて慎重に対応すること、
三井家御殿の部材の移転保管場所については、旧小浜第二保育園
が鉄筋コンクリート造であり、老朽化していること等を踏まえ、
保管に適した候補地を今一度考慮し決定すること、三井家御殿の
部材運搬費用については、内容を精査し経費の節減に努めること。
これらの事項について十分留意し事業執行するよう、附帯決議案
を可決しました。

※附帯決議とは…可決した案件についての議会の要望、意見等のこと。
法的拘束力はない。

可決した意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

【概要】地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保・医療・
介護への対応、地域交通の維持など、その果たす役割が拡大する
中で、人口減少対策やマイナンバー制度への対応、防災・減災事
業の実施など、新たな政策課題に直面しており、社会保障費関連
をはじめとする財政需要に対応するためには、さらなる地方財政
の充実・強化が求められる。

このため、2020年度の政府予算と地方財政の検討にあたり、
では、社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざす必要があり、
政府に対策を求めるもの。

令和元年第4回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について	条例	小浜市印鑑条例の一部改正について
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について		小浜市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	小浜市水道ビジョンの改定について	陳情	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
予算	令和元年度小浜市一般会計補正予算(第3号)	意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書
	令和元年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	人事	教育委員会教育長の任命について(窪田光宏氏)
	令和元年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		教育委員会委員の任命について(村上郁子氏)
	令和元年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	決算	平成30年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		平成30年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第1号)		平成30年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		平成30年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和元年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)		平成30年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和元年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)	平成30年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
条例	小浜市一般職の職員の給与に関する条例および小浜市一般職の職員等の旅費に関する条例の一部改正について		平成30年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	小浜市市税条例等の一部改正について	平成30年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	御食国若狭おばま食文化館の設置および管理に関する条例の一部改正について	平成30年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
	小浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	平成30年度小浜市水道事業会計決算の認定について	
	小浜市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について	決議	議案第47号令和元年度小浜市一般会計補正予算(第3号)に対する附帯決議について
	小浜市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について		

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 棄=棄権(採決時に退席)

項目	件名	採決結果	杉本和範	東野浩和	川代雅和	坂上和代	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	佐久間博	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対			
指定管理	小浜市インフォメーションセンターの指定管理者の指定について	多	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	
予算	令和元年度小浜市一般会計補正予算(第4号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
その他	小浜市民体育館原子力災害対策施設整備工事請負契約の締結について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
	小浜市と高浜町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0

※今井伸治議員は議長のため採決には加わっておりません

議会を傍聴しませんか？

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

一次回定例会の日程

- 11月29日(金) 本会議
- 12月12日(木) 一般質問
- 12月13日(金) 一般質問
- 12月20日(金) 本会議

今月の表紙

八幡神社祭礼(放生祭)では、9月14日(土)15日(日)の両日、山車、大太鼓、神楽、獅子の演し物が町中を巡行しました。

まちの駅での御旅所の賑わいの様子です。

委員会審査

予算決算常任委員会 (9月補正)

◆子育てのための施設等利用給付事業 100万8000円

【説明】「幼児教育・保育の無償化」に伴い、支給要件を満たした子どもに当給付費を支給するためのもの。

問 施設の利用方法は。

【答】認可外保育施設で、保育の必要性が認められたときは、本制度の中で対応する。最高4万2000円まで対応するが、超えた分については実費負担となる。

◆食文化館管理運営事業 79万1000円

【説明】食文化館ミュージアムの空調設備を更新するためのもの。

問 新設するシーリングファンの必要性、および空調機器更新とシーリングファン設置によって見込める電気料金の削減額は。

◆文化遺産活用推進事業 334万2000円

【答】食文化館のような構造の建物は、空調で冷やした空気をシーリングファンでかき回さないと全館が快適にならない。電気料金については、月約20万円削減できる見込みである。

◆小学校施設トイレ改修(洋式化)事業 524万2000円

問 地域コミュニティの場でもある体育館のトイレ洋式化の計画は。

【答】高齢者などが避難所として活用することなどを踏まえ、1カ所1基を整備方針としている。今後、徐々に増やす努力をしていく。

問 各学校の整備率の格差については。

【答】校長の意見を聞きながら、段階的な平準化も検討していく。

総務民生常任委員会

◆議案第58号 御食園

若狭おばま食文化館の設置および管理に関する条例の一部改正について

【説明】消費税率の改正等に伴う漬の湯の入浴料の上限額の改正。

問 他の施設では6月定例会で改正議案を審査したが、本議案が今定例会になった理由は。

【答】今年度が現指定管理者の最終年度であるため令和2年4月からの更新に合わせることで、入浴料の改定が頻回にならないようにと判断したため。

問 改定後は障がい者・高齢者料金が他と比較して高くなるか。

【答】高齢者にも大人料金と同じ上げ率を適用するが、指定管理者において毎週木曜日に高齢者割引を実施しており、今後も高齢者や障がい者の方々への手厚い対応を期待する。

◆陳情第12号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

【説明】来年度の政府予算と地方財政の検討にあたって、歳入・歳出を的確に見積もり、社会保障予算の充実と地方財政の確立を実現するための意見書の提出を求めるもの。

【意見】林業需要の高い自治体への森林環境譲与税額の増大はもつともである。会計年度任用職員の原因確保を図ることを求めることは必要。

◆議案第69号 小浜市と高浜町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の制定について

問 搬入するごみについて、災害時など家庭ごみが急増した場合の対応は。

【答】ごみの搬入について受け入れ可能な範囲内としており、小浜市のごみ焼却施設で対応可能なごみの容量を超え、小浜市での対応が困難となった場合に備え、高浜町には県外へ移出するルートも確保していただいている。

産業教育常任委員会

◆議案第63号 小浜市インフォメーションセンターの指定管理者の指定について

【説明】一般社団法人若狭おばま観光協会をインフォメーションセンターの指定管理者に指定するもの。

問 市からの指定管理料は発生しないのか。

【答】管理運営費の増加分については、売り上げやテナント料等の収入により賄ってもらう。指定管理料は設定しない。

問 指定管理者選定委員会における選定審査の評価については。

【答】選定委員の評価が低かった項目については、課題を把握し改善は結び付けたい。

【意見】案内標記や英語圏以外の外国人観光客への対応も必要。市内観光施設等の情報を収集し、一元化する必要がある。運営に対し、お客様満足度も注視し当施設が小浜市の玄関口としてより良い活用がなされるよう取り組んでほしい。

総務民生常任委員会管外視察研修報告

視察日 令和元年7月30日～31日
視察先 石川県七尾市、富山県射水市

本委員会では、公民館のコミュニティセンター化に関する調査研究に取り組んでいます。

石川県七尾市

七尾市では平成24年9月に七尾市まちづくり基本条例等により新たな地域づくりに取り組み、地域づくり協議会設立と公民館のコミュニティセンター化を進めてきました。

新たな地域づくりに関して、さまざまな支援を行っています。特に財政的支援については地域コミュニティ交付金、地域提案型協働事業補助金、

富山県射水市

射水市では市民自らが地域の課題を解決し、地域にあったまちづくりを実現するため、地域振興会を設立しました。市は、財政的支援・人材育成支援・活動拠点への支援を行っています。

27地域の公民館をコミュニティセンターに移行しましたが、移行の

地域創生交付金の支援を行っているっており、中でも地域提案型協働事業補助金は、補助率10分の10で上限のない特徴的なものです。

また、第2次七尾市総合計画に基づき、地域づくり協議会による指定管理者制度の導入、地域おこし協力隊の活動による人材の発掘と育成に取り組んでいます。

際、生涯学習活動の停滞を懸念し、その対応策として、生涯学習活動事業の委託、生涯学習推進委員の委嘱、富山県公民館連合会への加入等を行いました。

本市においても、生涯学習の継続方法は検証していかなければならない課題だと実感しました。



射水市視察



七尾市視察

地域防災・原子力安全対策特別委員会現地調査報告

調査日 令和元年8月23日

災害に強いまちづくりを推進するため、管内で行われている河川改修・砂防工事等について現地調査を実施しました。河川改修などの事業は規模が大きく、市民の生命・財産を水害や土砂災害等から守る難しさを感じることも、対策の必要性を痛感しました。

- ・河川改修
- ・遠敷川（遠敷地係）
- ・砂防ダム
- ・瓜生谷川（羽賀地係）
- ・一文字川（福谷地係）
- ・道路
- ・加尾西小川線・宇久線（宇久地係）
- ・勢坂橋（東勢地係）



遠敷川現地調査

産業教育常任委員会意見交換会報告

日程 令和元年9月27日

当委員会では、「雇用創出に向けた取り組み」をテーマに小浜商工会議所との意見交換会を実施しました。小浜商工会議所（中小企業相談所）の取り組みについて説明を受けた後、「創業・起業支援」、「雇用のミスマッチ解消（担い手確保）」等についての、それぞれの立場での情報交換を行うことにより、現状の把握と今後の課題の共有ができ、双方にとって大変有意義な時間となりました。

各振興協議会報告

小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会

日程 令和元年7月22日

場所 小浜市

研修

若狭歴史博物館を視察し、都と若狭をつなぐ道としての、高島市と若狭町と小浜市の連携とした交流を学びました。

小浜市・若狭町総合振興協議会

日程 令和元年8月6日

場所 小浜市

現地視察

福井県栽培漁業センター

研修

「若狭地域における水産業の現状と今後の養殖の取り組み」について福井県水産試験場企画・先端研究室長より説明を受けました。

小浜市・おおい町総合振興協議会

日程 令和元年8月8日

場所 おおい町

研修

「北陸新幹線の整備促進」および「舞鶴若狭自動車道4車線化」について福井県より進捗状況の説明を受けました。

平成30年度決算を認定

一般会計

歳入 173億7,033万9,261円
歳出 167億8,417万6,667円

今定例会で、平成30年度の一般会計をはじめとする各会計の決算を認定するため、予算決算常任委員会に付託しました。さらに慎重に審査をするため、総務民生・産業教育それぞれの分科会に調査依頼し、質疑・討論を経て採決を行いました。

また、事業の進捗状況を確認するため、9月25日に管内視察を行いました。審査の結果は、全会計とも認定することに決しました。

総務民生分科会

▼全会計に関して

問 決算額が当初予算を上回る事業がいくつか見られたが、補正予算での対応がなかったことから、流用に対しての認識を問う。

答 議会で審査していただいた予算を執行することが基本であり、流用は例外的な方法であると考えている。流用については、必ず担当課にヒアリングを行い、必要性を十分審査して、適正な予算執行に努めていく。

▼高齢者運転免許自主返納支援事業 93万5898円

問 運転免許返納に関する相談窓口等の設置状況、および本支援事業の手続き方法は。

答 免許返納に関する相談は、警察署、もしくは運転免許センターで実施しており、市役所では返納の支援事業を行っている。警察署から交付される通知書のほか、身分

証明書の写しなど申請書類の提出を受け、あいあいバス等の回数券、またはタクシーチケットを1万円分交付している。

意見 返納しやすい環境を整えるほか、市街地内外を区別した返納者データの把握および分析が必要では。

▼ふるさと納税事業 2億4207万6491円

問 返礼品の事業者として参画を希望する市内事業者への支援と、納税業務を高島屋に一部委託しているメリットは。

答 希望する事業者には、専門家による研修会のほか、補助金制度を設けている。高島屋は、バイヤーがしっかりしており、返礼品のレベルが上がっている。高島屋の会員がメインであり、客層の違いから、納税の増加に寄与している。

▼病後児保育事業 189万5500円

問 利用者数が延べ6人と少なかったが、費

用対効果の面から委託料の見直しは。

答 インフルエンザの流行など、年によっての季節的要因で増減する。委託料は最低限必要な職員の人件費であり、見直しは困難である。

▼生活保護扶助費 2億2954万7861円

問 生活保護世帯数と扶助額が減少しているが、相談受付の現状と扶助額減少の要因は。

答 生活保護の基準は明確であり、対象にならない生活困窮者に対しては、相談を継続したり、関係機関につないだりしている。扶助額減少の要因は、医療扶助の減少であり、年によって変動が

ある。
意見 生活保護世帯数の減少要因が、厳しい審査の結果とならないよう、適切に行っていく。

▼特定健康診査等事業 2371万3024円

問 特定健康診査受診率の目標と、目標達成に対する国の対応は。

答 国が示す目標は60%であり、本市は37.3%の状況である。現在、保険者努力支援制度があり、受診率の向上や医療費抑制の努力が認められると点数が加算され、それに応じて交付金が増額される。

【決算審査の役割】

決算審査は、市の予算が適正に目的どおり使われたかという観点から審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するという重要な役割を担っています。

産業教育分科会

▼雇用推進対策事業

61万5231円

問 企業説明会のPR方法や地元出身者の市内就職率が低い理由は。

答 大学の卒業予定者や親族への案内、また、関西圏の大学のキャリアセンターに対し、福井県出身者への呼びかけを依頼するなどの取り組みを行っている。市内就職率の低さについては、雇用のミスマッチが要因と考えている。

▼意見

雇用とのミスマッチに対する本質的な分析調査や、県と就職支援に関する協定を締結している大学への企業情報の発信など、連携した雇用対策が必要である。

▼観光おもてなしプラン

充実事業

856万円

問 てんこもり小浜フェスタについて、集客に向けた情報発信の方法やそのターゲットを問う。

答 冊子を作成し、都

市間交流等で出向いた県内外の各地や、人が集まるイベント等で配布している。現在は、足を運びやすい県内各地および関西、中京方面からの誘客をターゲットにした新聞掲載、テレビ出演などのマスコミプロモートを実施しているが、今後は、北陸新幹線敦賀開業を見据え、関東方面へも情報発信を強化していきたい。

▼ビジットOBAMA推進事業

1020万4536円

問 レトロバスの今後の活用方法は。

答 現在は、来訪者等を三丁町などまちなかへ誘導することを目的としたコースで運行を実施しており、より経済効果を生み出し、まちなかの活性化につながるような活用を進めていきたい。

▼意見

費用対効果を意識し、バスの有料化や目的をもつて立ち寄る観光コースの設定、また、予約制や最少催行人数の設定など、民

間のノウハウを取り入れた有効な活用を検討する必要がある。

▼「鯖」復活プレミアム養殖拡大プロジェクト

1297万2727円

問 養殖事業の自立化および人口種苗生産研究の今後の見通しは。

答 今後、養殖事業においては、経費削減と販路拡大が大きな課題である中、現在は意欲ある民間事業者が主体となって事業を展開しており、3年後、3万尾の養殖を中期的な目標として、事業の自立化をめざしていきたい。人口種苗においては、県立大学等とも連携しつつ、行政や研究機関が中心となって研究を進めている。

▼社会資本整備(住宅ストック)

2070万6840円

問 市営住宅への入居状況や老朽化に伴う施設の管理計画は。

答 現在、23団地582戸のうち入居数は482

戸である。582戸中220戸については、老朽化などにより、現在の入居者が退去後に順次取り壊す計画となっており、代替住居の予定は現時点ではない。

▼小浜美郷小学校建設事業

2億9084万3903円

問 小浜美郷小学校建設事業に充当した小浜市教育施設整備基金の残高と今後の統廃合に向けた計画は。

答 基金残高は平成30年度末で615万2519円である。今回の統廃合の実績ならびに市の財政状況を踏まえると、現計画での次の統廃合は厳しい状況と考えているが、児童数が減少していく中、適切に教育環境を整えることは市教育委員会の使命であり、今年度中に新たな統廃合に向けた検討委員会の立ち上げを行い、現在の4校案を基本としつつ、小浜美郷小学校の運営状況も当該委員会で検討に反映させていきたい。

予算決算常任委員会管内視察

日程

令和元年9月25日

平成30年度決算審査の一環として、市内4カ所の管内視察を実施しました。現地で所管課から事業の説明を受けながら各施設を視察し、適正に予算執行がされているかを確認しました。

- ・原子力災害対策施設整備事業 (加斗小学校 エアシェルターシステム)
- ・重伝建地区保存修理事業 (小浜鹿島 八幡参道みやげ)
- ・内外海地区未来漁業プロジェクト (旧田鳥小学校 小浜市水産業活性化拠点施設)
- ・介護施設等整備事業 (遠敷七丁目 ふらむはあとナーシングケア)



加斗小学校 エアシェルター視察



市政を問う！一般質問

令和元年第4回（9月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

氏名	質問項目	氏名	質問項目
風呂 繁昭	1.小浜市行政経営プランについて 2.観光局の取り組みについて 3.史跡、後瀬山城跡整備基本計画 4.食文化館を拠点とした食のまちづくりの推進	東野 浩和	1.多田川水系河川整備について 2.新まちづくり構想について
牧岡 輝雄	1.高齢化社会における課題 2.北陸新幹線敦賀開業アクションプランとは 3.障害者雇用について	川代 雅和	1.高齢者など交通弱者の移動手段確保について 2.防災としての森林の役割と整備状況について
坂上 和代	1.安定ヨウ素剤の事前配布等について 2.関電との「安全協定」について	下中 雅之	1.地域協働のまちづくりについて
杉本 和範	1.自治体デジタル化への取り組みについて 2.おばまの環境資源を活かしたまちづくり	熊谷 久恵	1.教育と福祉の充実について 2.外国人の受け入れについて
		能登 恵子	1.小浜市水防計画の要配慮者避難訓練について

問 後瀬山城跡は、平成9年5月に国史跡に指定されてから22年の歳月が経っている。

答 「三丁町のや」の一階部分でテナント業者との協議を進めている。

問 「三丁町のや」管理者の配置について。

答 観光局の簡易宿所運営、経営感覚を持った行政機構の整備、市民との協働体制の確立などのプランを作成し取り組んでいる。

問 アウトソーシングの推進、持続可能な財政運営、経営感覚を持った行政機構の整備、市民との協働体制の確立などのプランを作成し取り組んでいる。

問 「グループプーマーメイド」「キッズサポート」のかけはしサポーター

答 今年度から「御食

問 今年度から「御食

問 今年度から「御食



風呂 繁昭
議員

公共施設の老朽化など財政需要の増加！

問 2022年には若狭武田氏が後瀬山城を築いて、ちょうど500周年になる。順次整備を進め記念事業を行うなど少しでも「見える化」ができないか。

答 案内板の設置など先行整備を行い500年という節目の年には、地元団体、観光まちづくり団体などと連携し記念事業として、実施を検討する。

問 「グループプーマーメイド」「キッズサポート」のかけはしサポーター

答 今年度から「御食

問 今年度から「御食

問 今年度から「御食

問 今年度から「御食

問 今年度から「御食

問 今年度から「御食

問 高齢者の悲惨な事故を新聞報道等で聞くが本市の状況は。

答 平成30年に本市で発生した高齢者が第一当事者の人身事故数は8件、そのうち死亡事故の件数は2件である。

問 高齢者の免許証自主返納者数は。

答 平成26年は57人、30年は115人と増加。

問 返納者への支援は。

答 高齢者が自主返納の場合、有効期限のない1万円分のあいあいパス等の回数券か3年有効のタクシーチケットを選択し利用する。

問 高齢者世帯の増加等、空き家対策は。

答 毎年4月に空き家に関する相談窓口の連絡先を明記したシールを、固定資産納税通知書の封筒に張り付けての送付や、帰省の多いお盆



牧岡 輝雄
議員

高齢化社会における課題

問 50歳代の引きこもりの子どもを80歳代の親が養う世帯の問題で、経験や知識不足から介護ができない場合や、経済的な問題から介護保険サービスを受けられない等、病気や重度の要介護状態になるケースもある。民生委員から連絡を受けた地域包括支援センター職員が、家庭訪問等により、状況に応じて要介護認定の申請を勧める等の支援をしている。

問 認知症問題について。

答 2025年には認知症の人は約700万人となり、高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれる。市は、「小浜市認知症ケアパス」を高齢者相談窓口や民生委員に配布して相談対応に活用し、また、「認知症カフェ」の設置や「地域見守り協定」等、応援の輪の推進を図っている。

問 50歳代の引きこもりの子どもを80歳代の親が養う世帯の問題で、経験や知識不足から介護ができない場合や、経済的な問題から介護保険サービスを受けられない等、病気や重度の要介護状態になるケースもある。民生委員から連絡を受けた地域包括支援センター職員が、家庭訪問等により、状況に応じて要介護認定の申請を勧める等の支援をしている。

問 認知症問題について。

答 2025年には認知症の人は約700万人となり、高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれる。市は、「小浜市認知症ケアパス」を高齢者相談窓口や民生委員に配布して相談対応に活用し、また、「認知症カフェ」の設置や「地域見守り協定」等、応援の輪の推進を図っている。

問 50歳代の引きこもりの子どもを80歳代の親が養う世帯の問題で、経験や知識不足から介護ができない場合や、経済的な問題から介護保険サービスを受けられない等、病気や重度の要介護状態になるケースもある。民生委員から連絡を受けた地域包括支援センター職員が、家庭訪問等により、状況に応じて要介護認定の申請を勧める等の支援をしている。

問 認知症問題について。

答 2025年には認知症の人は約700万人となり、高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれる。市は、「小浜市認知症ケアパス」を高齢者相談窓口や民生委員に配布して相談対応に活用し、また、「認知症カフェ」の設置や「地域見守り協定」等、応援の輪の推進を図っている。

一般質問



坂上 和代
議員

問 P A Z（原発から5 km）での配布は。

答 国の原子力災害指針・県および本市の広域避難計画に基づき事前配布を行う。

問 U P Z（5～30 km）での配布は。

答 避難時の緊急配布としている。配布場所は17か所を指定しており、その中から緊急配布場所を選定し避難や服用を遅延させない工夫を講じる。

問 U P Zでの配布のタイミングを伺う。

答 全面緊急事態の時は屋内避難し、その後配布の必要性を判断して、緊急配布場所において配布する。

問 原発事故は自然災害との複合災害の可能性が大きく、道路の寸断の危険性や、避難する車の渋滞等を危惧す

ると、緊急配布は極めて困難ではないかと思う。被ばく直後の服用で効果があるとされているのに、間に合うか。服用のタイミングを伺う。

答 放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくは、安定ヨウ素剤の適切なタイミングによる服用で予防・低減できる。ばく露される24時間前からばく露後2時間以内

に服用すると放射性ヨウ素の甲状腺への集積の90%以上を抑制できる。

問 放射性物質が拡散し高線量の中で、配布に従事する職員の被ばくの懸念は。

答 安定ヨウ素剤を携帯する。タイベックスーツやマスク等を着用し細心の注意を払っている。

問 安定ヨウ素剤の効果と配布の周知は。

答 低年齢ほど甲状腺がんのリスクが高いので妊娠届出時や乳幼児健診の時に周知を図る。

「安定ヨウ素剤」の事前配布を求める



杉本 和範
議員

問 行政サービスへの取り組みについて伺う。

答 デジタル技術は、あらゆる分野の行政サービスの向上に重要な技術だと捉えている。平成29年9月から取り組んでいる「母子手帳アプリ」

では、市の子育て教室の開催など随時の情報配信や、成長に合わせた定期的な子育て情報を配信し、現在約200人の利用がある。マイナンバーカードを利用した

行政手続や幼児期・学童期の健康診断などのデータをビッグ・データとして蓄積し、健康管理への活用が予定される

ながら、市民サービスの向上につなげて参りたいと考えている。

問 農林水産スマート農業などの現場の課題について伺う。

答 農林水産業の担い手不足の課題は深刻化しており、若い人材を将来の担い手として育成していくことが重要となっている。今年度から、スマートフォンによる日々の作業の記録のほか、ドローンによる生育調査の実施、センサー付きコン

自治体デジタル化への取り組みについて

答 農林水産業の担い手不足の課題は深刻化しており、若い人材を将来の担い手として育成していくことが重要となっている。今年度から、スマートフォンによる日々の作業の記録のほか、ドローンによる生育調査の実施、センサー付きコン

バインによる収穫量の把握などを実証し、営農に関するデータの蓄積を行っている。通信環境を整えることも重要であると

考えており、今後課題を見極め必要な検討を行うしていきたい。

問 小中学校のICT環境の整備状況と今後の計画について伺う。

答 今年度から、順次ICT環境の整備に取り組みすることとしており、教師指導用タブレットおよび大型提示装置を5年リースにより設置するとともに、来年度からは、デジタル教科書の導入を行う計画としている。

問 今後の多田川水系河川整備と市道森川線拡幅工事の具体的な工程は。



東野 浩和
議員

問 今後の多田川水系河川整備と市道森川線拡幅工事の具体的な工程は。

答 県は、多田川下流側から整備を進めており、約300m区間の整備が完了している。現在、和久里地係の市塔橋の架け替え工事を行

っており、今後残りの馬淵橋を含む市塔橋上流部の整備完了後、森川の整備を進めていくと聞

いている。森川沿いにある市道森川線の拡幅工事については、市で測量設計業務を進めており、

今後、県の森川整備に合わせて工事を進めていく。

問 河川整備計画期間は平成16年からおおむね20年（令和6年）だが期間に関して計画通り進行されているか。

答 県からは、用地の確保などで難航しているところもあるが、今後とも計画的に工事を進め、できる限り早期完成に努めると聞いている。市としても、県に対して強く要望したところである。

多田川水系河川整備の早期完成を！

問 市道森川線は国道27号へつながる重要道であるが、工事期間中の生活道の確保は。

答 周辺道路の車両や歩行者の通行状況を確認し、できる限り迷惑にならない施工方法を検討する。

問 整備計画未策定区間となっている多田川上流の今後の管理、維持は。

答 砂防施設である護岸ブロックなどの構造物の維持管理は県が行い、たい積土砂のしゅんせつや草刈・立木のばつ採などを市が行っている。今後

も県と情報共有を図り、緊急性や必要性を見極めながら対応したい。引き続き適正な維持管理に努めていく。

問 県からは、用地の確保などで難航しているところもあるが、今後とも計画的に工事を進め、できる限り早期完成に努めると聞いている。市としても、県に対して強く要望したところである。



川代 雅和
議員

問 平成30年に発生した交通事故件数を伺う。

答 県の人身事故は1378件、その内高齢者の件数は337件、小浜市では、34件、高齢者は8件である。

問 小浜市の自動車運転免許証の保有者数と65歳以上の保有者数は。

答 保有者数は2万10人、65歳以上では5443人である。

問 公共交通(あいあいバス)の運行状況と利用状況について伺う。

答 毎日運行が5路線、隔日運行6路線、8万2853人が利用し、主に通学で利用されている。運行経費が約1億円、収入が約1千万円と厳しい状況にある。

持続可能な公共交通の構築を進めるには

について伺う。

答 通学、通院等市民生活に重要な役割を担っているが、利用者の減少が顕著に現れている。運行本数や路線の拡大など取り組みは難しいが、利用の多い通学でのダイヤ改正、市内での通院や買い物等循環型の運行など、市民生活にあった路線の見直しを検討し利便性の高い持続的な運行に取り組んでいく。

問 地域と連携した取り組みについて伺う。

答 地域独自の取り組みと連携しながら協議を重ね、利便性の向上と持続可能な公共交通の構築をめざしたい。

問 防災面から森林整備について伺う。

答 適正な森林整備を行い災害に強い森林づくりを行うことが必要で、嶺南森林組合と連携し整備を進めている。今後も、森林組合等と連携して森林の集約化等を進め、計画的な間伐等森林整備による適正な森林管理を行う。



下中 雅之
議員

問 まちづくり協議会に対する財政支援の中心として、ゴミ集積所設置補助や除雪補助などの原材料支給分も含まれている。大雪や自然災害への対応を考えると実情として厳しいものがあると思われるが、現在の交付金制度に対する課題を伺う。

答 まちづくり協議会が事業の規模を拡大したり、区からの原材料支給等の申請が増えたりすると、予算が不足することが考えられるが、事業内容について精査し、優先順位を付けて実施していただく等の対応をお願いしている。各区への原材料支給については、大雪等、災害レベルの事象が発生したときは、交付金では対応できないことから、市で対応する必要があると考え

地域を持続可能にしていく取り組みを！

ている。

問 現在、小浜市のまちづくり協議会に対する財政支援については、人口割、均等割、それに乗せ分が算出基準となっている。この点については、個別の事業を精査する必要性や、各地区によって実情も異なるが、交付金に対する今後の考え方について伺う。

答 交付金の算定方法については、見直しが必要ではないかとの意見があり、また、全地区でまちづくり協議会が設立されたことから、全地区の事業の内容および交付金の使途、地区負担金の額等を確認するとともに、まちづくり協議会の意見を聞きながら、石川県七尾市のような、地域課題を解決するために住民ニーズに沿った活動に対して補助する「地域提案型協働事業補助金」等の創設を含め検討していきたい。



熊谷 久恵
議員

問 小学校のふるさと学習での提案はどう実現し、そのねらいは。

答 地域との連携の中で数多く実現。提案の実現が自己肯定感や地元に対する愛着、将来地元で暮らしたり地元活動に参画する意欲を高めると考える。

問 取り組みは10年目だが、故郷に対する意識の変化はあるか。

答 活動の繰り返し探求の幅を広げ工夫した活動になっている。教員も地域の良さを知る機会が増え交流が広がり、児童の発想を活かした実効性ある活動になっている。保護者は子ども達の活動を見守り、話を聞く事で地域の人・もの・ことに対する新たな発見や気付きが生まれている。今年9月に、ふるさと学習の効果を

18年間で小浜を誇りに思う心を育てる

検証する。

問 中学の取り組みは。

答 対象を市全体へ広げ、地域の偉人、自然・文化・産業の特色を調べ、修学旅行で小浜の良さをPRしている。

問 高校との地域課題解決の取り組み効果は。

答 地域が抱える課題を我が事と考え取り組んだ経験は、論理的に考える力や社会人に必要なコミュニケーション能力を培い、郷土愛の醸成になると考える。

問 保育の取り組みは。

答 運動や自然遊びから自ら考え学べる機会を提供、情緒の安定した生活環境を確保し心身共に健やかな子どもの育成を心がけている。

問 公園が少ないという声があるが。

答 県は県営若狭総合公園のリニューアル工事を計画している。

問 誇りを育てる教育への教育長のお考えは。

答 各関係方面と連携を大切に、ふるさと教育の更なる充実に努める。

特集 宮川地区のスマート農業実証プロジェクト

日本の農業が抱える高齢化、人手不足の課題を解決するカギとなるのが「スマート農業」です。

今年から2年間、全国69地区で水田、果樹、畜産などの分野にロボット、AI、IoTなどの先端技術を活用して、その効果を実証するのがスマート農業実証プロジェクトです。

小浜市では宮川地区において、「中山間地域におけるデータをフル活用した未来型大規模水田作モデルの実証」として取り組みが始まりました。ロボットトラクター、直線キープ田植機、可変施肥田植機、リモコン式草刈機、食味・収量測定機能付きコンバイン、ドローンによるリモートセンシング、米品質測定システム、経営栽培管理システムなど最新の機械やシステムを導入し、それらのデータを研究機関である京都大学・東京大学で分析し、生産性を高め、省力化へ活用できているのか検証しています。



食味・収量測定機能付きコンバイン

「農業技術」×「先端技術」



スマート農業

出典：農林水産省ホームページ「スマート農業の展開について」から抜粋

事業を実施している(株)若狭の恵は、事業拡大のために全国展開やアジア市場への販路拡大をめざす一方で、省力化による働き方改革を進め、若い人の就労者を増やしています。また、ひまわり畑を通して地域の活性化につなげています。

(株)若狭の恵 代表 前野さんのコメント



(株)若狭の恵 代表
前野 恭慶さん

最新の機械は農業のあり方を変える可能性があります。例えば環境にやさしい特別栽培米は、虫食いが出るなど作り方が難しく、農薬散布をしなければ収量が上がりません。しかし、草刈と、虫食いをはねる最新の機械を導入すれば、農薬散布をしなくてもいいお米ができるようになります。

すべての機械が電波でコントロールされるため、電波の基地局の整備が必要となるなど、課題が見えてきました。実証実験の結果はこれからですが、手ごたえは感じています。



宮川地区 恵のひまわり畑

❖ 議会報告会を開催します ❖

どなたでもご都合のつく日時・会場にお気軽にお越しください

日時

11月19日(火) 19時30分～21時

会場

松永公民館(1班)
雲浜公民館(交流ターミナルセンター)(2班)
遠敷公民館(3班)
中名田公民館(4班)

日時

11月22日(金) 19時30分～21時

会場

小浜公民館(若狭ふれあいセンター)(1班)
宮川公民館(2班)
西津公民館(3班)
今富公民館(4班)

※内外海・国富・口名田・加斗の4地区は10月23日(水)に開催しました。

班構成

1班

杉本 和範
熊谷 久恵
藤田 靖人
富永 芳夫

2班

東野 浩和
牧岡 輝雄
能登 恵子
池尾 正彦

3班

川代 雅和
佐久間 博
小澤 長純
下中 雅之
藤田 善平

4班

坂上 和代
竹本 雅之
今井 伸治
垣本 正直
風呂 繁昭

次第

- ① 定例会報告(3月～9月議会で審議された内容など)
- ② 防災について(台風と自主防災組織について)
- ③ 意見交換(市民の皆さまからのご意見やご質問をお聞きします)

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約2週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。

